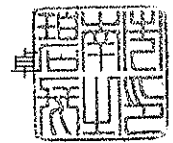




19碧都第15号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

愛知県碧南市長 永島



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付国道企第114号にて依頼のありましたみだしのこと
につきましては別紙のとおり回答いたします。

【連絡先】

碧南市役所 都市計画課 管理係 鳥居

電話 41-3311 内線421、422 FAX 48-0077

道路政策に関する意見

碧南市長 永島 卓

1. 住宅密集市街地での課題

本市大浜地区は古くから港町を中心に栄えてきており、木造住宅が密集し、道路も狭隘であるなど社会基盤が脆弱で都市防災の面からも課題が多く、密集市街地における道路の整備が急務となっている。このため、平成 16 年度より「まちづくり交付金」を活用し、密集市街地の再生を図っているところである。地域住民との意見交換も重ねながら、歴史的な町並み・風情を残しつつ、安全で快適な市街地を再生する事業であることから、地域からの期待も大きい制度であるため、制度の継続と更なる規制の緩和(道路事業による先行取得物件の買い戻しの適用など)をお願いしたい。

2. 水災害対策上の課題

本市は四方を水に囲まれ、現在の市域の約 4 割が、かつては水域であった土地であることから、水災害や地震時の液状化など、災害に対する危機感が強い。住民への安心・安全の確保のため、耐震補強など、災害に強い道路整備が必要である。

3. 広域アクセス性の課題

本市は西三河地域の南西端にあり、高速道路 IC・中部国際空港等へのアクセス性が低く、昼間の時間帯で伊勢湾岸道路の豊明 IC、豊田南 IC まで約 40 分かかり、住民の不満も強い。国道 247 号、名豊道路の 4 車線化、衣浦豊田道路の完成整備を一刻も早く完了するとともに、西三河沿岸部の東西軸である名浜道路を早期に実現することが必要である。

4. 交通混雑の課題

本市の南北軸である衣浦豊田道路(国道 247 号、419 号)は、6 車線で計画されており、道路用地は確保されているものの、暫定車線で供用されている。この路線は衣浦港臨海工業地帯に沿っており、朝夕のみならず、慢性的に混雑している状況にある。この解決のためには、早期に衣浦豊田道路の完成整備を行うことが必要である。

5. 道路財源の活用と地方への拡充

以上のほかにも、歩行者の安全確保のための歩道の整備や鉄道との立体交差化など、本市域においても整備を必要とする道路は多い。また、既存道路の有効活用という観点からは、道路特定財源を衣浦トンネルをはじめとする有料道路の償還に充てることで、無料化することもご検討いただきたい。早期供用を図るために通常予算に加え借入金を活用した制度であるなら、余剰した道路財源は有料道路の償還に充当すべきである。

また、地方では、真に必要な道路整備を行うための財源が不足しており、多額な一般財源を投入して道路整備を行っているのが実情である。補助率の拡大など、地方の道路整備費の拡充を図っていただきたい。